

2020年2月14日  
京成バス株式会社  
東京 BRT 株式会社

## 東京BRTのプレ運行開始について

※国土交通省へ認可申請中

京成バス(本社:千葉県市川市、社長:齋藤 隆)は、5月24日(日)に東京の都心と臨海地域とを結ぶ「東京BRT」のプレ運行(一次)の運行を開始します。

また、プレ運行開始に先立ち、東京BRT事業のホームページを開設します。ホームページでは、東京BRT事業の紹介やプレ運行(一次)の運行計画の概要案を掲出し、今後もプレ運行及び本格運行に向けた情報発信を積極的に実施してまいります。

引き続き、今後の交通需要の増加にも対応しながら段階的にルートを拡大していきます。また、環状第2号線本線トンネル開通(2022年度予定)後に本格運行への移行を予定しています。

なお、東京都においても本日付で東京BRTに関するリリースを実施しております。

### 1. プレ運行(一次)の概要(認可申請中)

運行開始日	2020年5月24日(日) ※運行開始日前日に開業式典を開催予定
運行事業者	京成バス株式会社
運行ルート	虎ノ門ヒルズ～新橋～晴海BRTターミナル 新橋～晴海BRTターミナル〈別紙1参照〉
運行頻度	ピーク時6便/時、日中4便/時
運行時間	6時台～22時台
運賃	220円(現金・IC同額、小児等半額)、他、BRT専用定期券の発行等を予定
支払方法	前乗り先払い(都内一般路線バスと同様) ※本格運行時は全扉乗車を実施予定
使用車両	単車車両8両(燃料電池バス5両、ディーゼルバス3両) 連節車両1両(ディーゼルハイブリットバス、7月頃の使用開始を予定)
ホームページURL	<a href="https://tokyo-brt.co.jp">https://tokyo-brt.co.jp</a>

### 2. 本格運行時の運行ルート名および停留施設名称(東京BRT株式会社による運行) 〈別紙2参照〉

## ■ プレ運行（一次）ルート図



## ■ 新橋停留施設完成イメージ図



## ■ 使用車両イメージ図

単車車両



連節車両



# 本格運行ルート名称及び停留施設名称

(東京BRT株式会社による運行)



## ■ 停留施設の名称 (10カ所)

名称
B11 虎ノ門ヒルズ
B01 新橋
B02 勝どき BRT
B03 豊洲市場前
B04 有明テニスの森
B05 国際展示場
B06 東京テレポート
B21 晴海中央
B22 晴海 BRT ターミナル
B23 豊洲

※選手村地区内停留施設3カ所 (B31・B32・B33) の名称は今後決定

## ■ 運行ルート (4ルート)

ルート名称	区 間
— 幹線ルート	虎ノ門ヒルズ・新橋 ~ 国際展示場・東京テレポート
— 晴海・豊洲ルート	虎ノ門ヒルズ・新橋 ~ 豊洲市場前
— 選手村ルート	新橋 ~ (仮) 晴海五丁目 (※名称は今後決定)
— 勝どきルート	新橋 ~ 勝どき BRT